

片づけができるということ



<片づけも、自分たちでできますよ。>

2学期が始まってすぐの頃のことです。

「ねえ、ねえ、どうして誰も褒めてくれないの！」

おもちゃの片づけをしている年少組の女の子が、少し不満そうにつぶやいています。

気が付いて、すぐに「えらいね。ご苦労様。」と言葉をかけましたが、よく見ていなくて、その子にはかわいそうなことをしてしまいました。「子どもはみんな褒められたいんだな、認められたいんだな。」と思いました。

靴をそろえる、おもちゃを片づける。こうした行為は、自発的には身につけません。「しつけ」によって身につけていきます。子どもは、おもちゃを箱から取り出すことは自発的にできます。遊ぶために必要なプロセスだから、教えなくても習得します。でも、終わった後に片づけることは、「しつけ」をしないと絶対にできるようにはならないといわれています。(池谷裕二『パパは脳研究者—子どもを育てる脳科学』扶桑社、2020年)

上手にできたときに、その姿を見逃さないで褒めてあげることが大切なのだと思います。そうやって子どもは、他人の指示を毎回仰がなくても適切に行動できるようになっていきます。自立していきます。

2学期も挨拶や返事、片付けなどを、丁寧に、繰り返し教えていきたいと考えています。

電車に乗って「どんぐり拾いに行こう」

園庭を飛ぶトンボを、子どもたちが大喜びで追いかけています。もうすっかり秋です。今年も、“いい電”に乗って、福島県立図書館・美術館に、どんぐり拾いに出かけます。季節の変化に気づいたり、公衆道徳を身につけたりする機会になればと考えています。

電車を利用しますので、大人の方の目があると安心です。近くなりましたら、引率ボランティアの募集をします。是非たくさんの方のご協力をお願いします。

- 日時 10月30日(金) ※雨天のときは11月2日(月)
9:00 幼稚園出発、13:25に幼稚園に戻ります。
- 引率 幼稚園の職員6名とボランティアのみなさん

